



日野中だより 7号  
発行：令和3年9月1日（水）  
文責：佐世保市立日野中学校  
校長 池田 美祐紀

校訓

学校教育目標



心豊かで活力に満ちた生徒の育成

学びあい 認めあい 支えあい

## 天地始爾(てんちはじめてさむし)



とても難しい言葉のように感じますが、これは「ようやく暑さが鎮まりはじめる頃」という意味があります。現実には、終わりに近づいた夏が最後の頑張りを見せているかのような猛暑が続いています。そのような中でも、ふっと秋の風を感じることがあります。このような秋の気配を感じる頃に聞こえてくる物音を、昔の人は「秋の風」と言いました。「音」ではなく、命あるものの「声」として聞いたのでしょうか。

この時期になると、気圧などの関係でしょうか、音がはっきり聞こえるようになると言われます。風、木の葉、虫や鳥の声・・・静かな夜はそんな音にも耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

## 9月1日 前期後半が始まりました！



長かった夏休みもあっという間に過ぎ、いよいよ今日から前期後半が始まりました。

夏休みの途中からは、大雨や新型コロナウイルス感染症拡大により、学校での活動が中止になりましたが、前半は県中総体、九州大会、駅伝練習等の各場面で生徒の活躍が見られました。県中総体、九州大会に参加した生徒は、日野中の代表であるとともに、佐世保市・長崎県の代表として全力を尽くしてくれました。駅伝の練習に参加した生徒は、暑い中に、早朝より本当によく頑張ってくれました。数日間の練習ではありましたが、日に日に体力をつけている様子がよくわかりました。その他にも、夏休み期間中に各々いろいろなことを経験し、遅くなって学校に戻ってきてくれました。何より嬉しかったのは、大きな事故等が無く、生徒のみなさんが元気な顔を見せてくれたことです。前期後半も元気に学校生活を送ってほしいと願っています。

## ☆生徒のみなさん、ここは必ず読んでね！



みなさん、今朝はスッキリと起きられたでしょうか。昨晩は「ああ、明日から学校だ。いやだなあ。」と思った人もいるかもしれませんね。実は、私も、長い休み明けや日曜日の夜は、緊張したり不安な気持ちになったりすることがあります。楽しみな反面、「大丈夫かな・・・」と心配に思うこともあるでしょう。今は、特に新型コロナウイルス感染症拡大についての心配もあるので、不安感もいつもより大きくなっているかもしれません。そんな時には、家族の人、友だち、先生たちに相談してください。「それも、ちょっと・・・」という人には、気軽に相談できるところがあります。

下に相談機関を記しておきますので、一人で悩まず相談してみてください。電話で相談しづらい人には、LINEやオンラインなどでの相談窓口もあります。

## 生徒のみなさん、一人で悩まないで！

- ◇佐世保市青少年教育センター（電話）
- ◇佐世保市青少年教育センター（メール）
- ◇24時間子供SOSダイヤル（フリーダイヤル・無料）
- ◇SNS相談窓口「スクールネット@伝えんば長崎」

(0956) 22-0077

ainomail@city.sasebo.lg.jp

0120-0-78310（なやみいおう）

0120-0-78310

（24時間いつでもLINEやWebで伝えることができます。自分のことだけでなく、友達や周りのことも相談できます。）

- ◇よりそいホットライン（フリーダイヤル・無料）

0120-279-338



## 保護者のみなさまへ

夏休みの面談の折には、ご来校いただきありがとうございました。私も1年生の面談に入らせていただき、学級の半数ほどの保護者の方とお話をさせていただきました。短い時間ではありましたが、ご家庭での子どもさんの様子や保護者の方のお考え等をお伺いすることができ、大変有意義な時間となりました。



※「青少年教育センター」のカードを本日配布しています。

さて、夏季休業が終了する前後の今の時期は、子どもたちにとって生活環境が変化することにより、さまざまな要因から精神的に不安定な状態となりやすく、中には深刻なケースに至ることも懸念されます。学校は、ご家庭や地域と連携して子どもたちをしっかりと見守っていきます。子どもさんの様子で何かお気づきのことやお尋ねになりたいことなどございましたら、ご連絡いただきますようお願いいたします。

☆長崎県教育委員会から通知が届いています。ご家族で一緒にお読みください。

**長崎県の子どもたちへ**  
そして、子どもたちを温かく見守り育てる、家族や教職員のみなさんへ

ぜひ、伝えたい「4つのこと」があります。

①「人は、だれにでも、心が苦しいときがあります。」

- ・だれにでも、つらいこと、かなしいことがあります。
- ・苦しさが重なると、つい「どうなってもいい」などと思ってしまうことがあります。
- ・でも、悩みがあることは、すべての人にとって、あたりまえのことなのです。

②「心が苦しいときは、だれかに相談しましょう。」

- ・自分一人で考え込まず、誰かに話してみましよう。
- ・だれかに相談できるということは、とてもすばらしいことなのです。
- ・あなたのまわりには、話をきいてくれる人がたくさんいます。

○先生、家族、友達、スクールカウンセラー、心の相談員...

○相談窓口


- ・24時間子供SOSダイヤル(親子ホットライン)・・・0120-0-78310
- ・メール相談・・・soudan@news.ed.jp
- ・子ども・家庭110番(毎日9:00～20:00)・・・095-844-1117
- ・ヤングテレホン(月～金9:00～17:45)・・・0120-786714
- ・子どもの人権110番(月～金8:30～17:15)・・・0120-007-110
- ・スクールネット@伝えんば長崎・・・URL:https://r.qrqrq.com/jFKfLmdq

③「どんな苦しさも、いつまでも続くものではありません。」

- ・どんな苦しさも、ずっとは続きません。
- ・必ず、新しい出会いや、新しい生活の始まりがあるのです。
- ・時間がたつ中で、心のようすは、どんどん変わっていくのです。

④「苦しんでいる人がいたら、話をきいてください。」

- ・話をきいてあげると、苦しんでいる人の心はきっと軽くなります。
- ・自分たちで、解決できない場合は、信頼できる大人に必ず相談しましょう。

 長崎県教育委員会

☆日野中 HP にカラー版を UP しています。鮮明な画像は、そちらでご覧になれます。